

## 【保健体育科のグランドデザイン】

何ができるようになるか ○各教科等で育成する資質・能力		何が身に付いたか ○各教科等の学習評価	
・各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全についての基本的な知識と技能。 ・運動や健康についての自他の課題を発見する能力。 ・課題解決のための合理的な思考力、判断力、表現力。 ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度。		・各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けようとしている。 ・運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。 ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うことができる。	
子供たちの実態		子供たちの発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする子供への指導	
・運動を得意とする生徒とそうでない生徒の二極化が見られる。しかし、試合や練習などでチームやペアでの活動になるとお互いで助け合うなど、向上心をもって積極的に授業に参加することができている。		・視覚教材などを使って、文字だけでなく見て理解できる環境を作る。 ・学習カードなどを活用して、授業内での見通しをもたせる。 ・運動強度に合わせてグループ活動を行う。	
何を学ぶか ○各教科等の教育課程の編成		どのように学ぶか ○各教科等の授業の実施	
・生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するため、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養う		・ICT 機器を活用して、自己や集団を客観的に観察することで、新たな課題に気付けるようにする。 ・学習カードから知識を深め、授業の振り返りをする。 ・ペアやチームの活動から、話し合う機会を設定する。	
実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働			
・教師間での連携を通して、常に教師が指導力の向上を図り続ける。		・部活動や地域の活動（マラソン大会など）と連携することで体力を向上させる。	
・ICT 機器、教材・教具の充実			
各教科等の特質に応じた「見方・考え方」			
・体育分野：生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する観点を踏まえること。 ・保健分野：疾病や傷害を防止するとともに、生活の質や生きがいを重視した健康に関する観点を踏まえること。			